



謹賀新年！ 皆様本年もよろしくお願いいたします。
 昨年は台風や大雨、大地震と毎月何かの大災害が頻発した一年だったのではないのでしょうか。2019年今年は「亥年」ですが何とか穏やかな一年になってもらいたいと願っています。
 今年一年、また「瓦版」を企画しますがお付き合いをお願いします…結びに、本年の皆様のご多幸をお祈りしております。



瓦版 新年号



発行 (株)カネマタ工務店
 TEL 025-792-2560
 FAX 025-792-7102
<http://kanematak.com>



「初夢」って…何時みる夢の事？

おめでたい「お正月」にみる「初夢」っていったい何時みる夢の事なのでしょう？ 文献での初夢という言葉の初出は、鎌倉時代の「山家集」だそうで、暦上の新年とは無関係に節分から立春の夜にみる夢を指していたそうです…随分と長いような気もしますが、この時代は初夢に限らず「立春」を新年の始まりと考えたことが原因ではないかと言われています。

「初夢」はやがて縁起を担ぐようになり、室町時代頃から良い夢を見るため、七福神の乗った「宝船」の絵を枕の下に入れて眠ると良いと言われました…それでも悪い夢を見た時は翌朝この絵を川に流して縁起直しをする…なんて都合の良い風潮もありました。

また、「一富士二鷹三茄子」という諺がありますが、これには諸説ありまして富士は「無事」、鷹は「高い」、なすは事を「成す」などの意味の掛詞からともいわれこの頃には「大晦日から元日」「元日から2日」「2日から3日」と、3つの説が現れました。この後、明治の改暦後は「元日から2日」とする人が多くなり、現在では元日の夕方から2日の朝方にかけてみる夢を「初夢」と定義するようになったようです…色々調べましたが間違っていたら「ゴメンナサイ」…



「小正月」の風習を残したいですね

「成人の日」の日取りが変わってから「小正月」の行事も様変わりし「鳥追い」や「賽の神」「年取り」といった行事がだんだん薄れてきたように思います。

少子高齢化の影響もあるんでしょうが、いずれこういった行事も執り行われなくなってしまうのでは…私らが子供の頃には各集落で2・3班に分かれて、高学年の子供の家に集まり餅を焼いたり、今川焼を造って他の班の家に遊びにいったりした記憶があります。また、私らの子供達の時代は公民館などに全員で集まり、お菓子を食ったりゲームをしたりしていた頃もあったような…

雪が降ってようやく月夜で冷え込んだ日であろうが、14日の夜に子供たちの唄う「鳥追い」の唄が、集落内に聞こえていた懐かしい思いがあります。今では何らかの形でこの風習を伝える地域もあるようですが、どちらかと言うと「観光」を目的としたイベント的な風潮に偏った行事が多いような…

いずれにしても古来より豊作を祈願したり、無病息災を願って行われていた風習を出来る限り後世へも受け継いでいてもらいたいものですね…



「七草がゆ」の豆知識…

1月7日には「七草粥」を食べる風習がありますが、七草は早春にいち早く芽吹く事から「邪気」を祓うと信じられていました。そこで、家族の無病息災を願って七草を粥にして食べるようになったと言われてます…古くはまな板の上で草を叩いて刻む回数まで決められていたとか？ 七草は言わば日本のハーブのような物…これを胃腸に負担がかからない「お粥」にして食べる事で、お雑煮やおせち料理で疲れた胃腸の回復を願いました…

単に七草と言ってもそれには理にかなった効用もあります…セリには鉄分が多く含まれており増血作用が期待できます。ナズナは熱を下げたり、利尿作用を促す働きがあります。ハコベラはハコベの事で蛋白質が多く含まれ、ミネラルや他の栄養にも富んでいて、古くから薬草としても親しまれてきた野草です。スズナはカブ、スズシロはダイコンの事で、ジアスターゼを多く含み消化を促進する作用があります。いずれも緑の草ですからビタミン類も多く含まれ、栄養が不足しがちな冬にはまたとない食べ物と言えます。七草の種類は土地柄によって異なりどうしてもこの七つと言う訳ではありませんが、年頭に当たって豊作を祈願し、家族の健康を願ってお粥をいただく気持ちが大切なのですね。



「K・H様邸」見学会ご来場御礼！

昨年の12月に開催しました「K・H様邸」の完成見学会…1日だけの開催でしたが、予想以上のご来場者様からお越しをいただき、無事にお披露目を済ませる事が出来ました…心から「感謝」を申し上げます。

2019年から「年号」も変わる、「平成」最後の年に時代を代表する「施工事例」を手掛ける事が出来ました…ご用命を賜りました「K・H様」には改めて御礼と感謝を申し上げます…今後ともよろしくお願いいたします。

見学会当日は朝から生憎の空模様でしたが、集落内の皆様をはじめチラシをご覧になった方や協力業者の方、弊社のH・Pを観て市外や県外からもわざわざお越しくださった方もいらっしゃいました。「在来軸組工法」の構造なのですが、お施主様の拘りで丸太や無垢材を多用した造りになっていて、ご来場様は口々に「今まで見た事がないお宅ですね…」と感心しきりで隔々までじっくり見学されていました…施工者としては最高の賛辞です…

見学会の翌日から「引越し」が始まり工期ギリギリでの完成となりましたが、今回の物件の施工は弊社にとりまして大変「意義」のある経験となり、もしまたこんな案件があるようでしたら、その時は自信を持って対応できると思います。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火 元日 赤口	水 初夢 先勝 地鎮祭 上棟吉日	木 友引 地鎮祭 上棟吉日	金 御用始 先負 上棟吉日	土 仏滅 三熨亡	日 小寒 赤口	月 七草 先勝 地鎮祭 上棟吉日	火 友引 地鎮祭 上棟吉日	水 先負 三熨亡	木 仏滅	金 大安 地鎮祭 上棟吉日	土 赤口	日 先勝 地鎮祭 上棟吉日	月 成人の日 友引 地鎮祭 上棟吉日	火 小正月 先負 上棟吉日	水 仏滅	木 大安 地鎮祭 上棟吉日	金 赤口	土 先勝 地鎮祭 上棟吉日	日 大寒 友引 地鎮祭 上棟吉日	月 先負 三熨亡	火 仏滅	水 大安 地鎮祭 上棟吉日	木 赤口	金 先勝 上棟吉日	土 友引 地鎮祭 上棟吉日	日 先負 上棟吉日	月 仏滅	火 大安 地鎮祭 上棟吉日	水 赤口	木 先勝 地鎮祭 上棟吉日